

新院長を紹介します



村上 晃司 院長

愛媛県立南宇和病院 村上 ^{こうじ} 晃司 院長

本年4月1日から、長年南宇和の医療に貢献されてきました鶴岡^{たかし}高志先生の後任として、愛媛県立南宇和病院の院長に就任しました村上晃司です。

現今治市の出身です。自治医科大学を卒業し、県内外の医療機関で勤務した後、平成12年度以降は県立中央病院総合診療科に所属、主に総合診療と地域医療に携わってきました。南宇和病院には平成18年度から3年間勤務したことがあり、現在は平成29年度から勤務しています。

南宇和病院では、15年前には22人いた常勤医師が8人まで減少し、さまざまな専門的診療機能が失われてきました。専門的診療を要するときには十分な医療を提供できず町外へ通院されたりご不便をおかけすることもあります。市立宇和島病院、県立中央病院、愛媛大学などと密に連携しながら、少しでも多くの方がこの愛南町内で適切な医療を受けられるよう努力してまいります。

また高齢化社会を迎え、この愛南町で最期まで“より良く生きる”、たとえ介護が必要な状態になっても自分らしい暮らしが続けられる、といったことが重視されるようになりました。そのためには医療だけでなく保健、福祉、介護との連携が重要であり、南宇和病院では、町内外のさまざまな職種の方たちと連携しながら、その役割を担ってまいります。

病院スタッフ力を合わせて、信頼される病院として、愛南町の方々の人生に貢献したいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

追記：最近身体を動かすことが好きになり、愛媛マラソン完走しました。また最近暇があれば県内の山をめぐる予定です。

4月に赴任した医師を紹介します



鶴田 寛二 医師

愛媛県立南宇和病院 内科 鶴田 ^{かんじ} 寛二 医師

4月より南宇和病院内科で勤務させていただきます。

初期研修終了後、西予市、伊方町へ赴任した後、3月まで1年間後期研修を受けました。

愛南町の医療・健康を支えられる様、努力いたします。

よろしくお願いいたします。